

事業主、家族等との連携による
職業リハビリテーション技法に関する総合的研究
(第2分冊 関係機関等の連携による支援編)

2007年3月

独立行政法人高齢・障害者雇用支援機構
障害者職業総合センター

NATIONAL INSTITUTE OF VOCATIONAL REHABILITATION

ま え が き

障害者職業総合センターでは、平成3年の設立以来、「障害者の雇用の促進等に関する法律」に基づき、我が国における職業リハビリテーション・サービス機関の中核として、職業リハビリテーションに関する調査研究をはじめとして、さまざまな業務に取り組んできています。

さて、この報告書は、当センターの研究部門が実施した「事業主、家族等との連携による職業リハビリテーション技法に関する総合的研究」の結果をとりまとめたものです。ここでは、障害者職業総合センター障害者支援部門において開発した「職場適応促進のためのトータルパッケージ」の活用を通して、教育や医療、福祉その他の関係機関との連携のあり方を検討しました。また、あわせて関係機関におけるトータルパッケージの活用可能性やそれぞれの関係機関と職業リハビリテーション機関との連携の課題についても検討を行いました。

この研究を進めるに際しては、いろいろな方から多大なご協力を賜りました。特に、本研究において調査や試行にご協力くださり、貴重なご意見をいただきましたみなさまに、深く感謝申し上げます。

この報告書が、たくさんの関係者の方々に活用され、わが国における職業リハビリテーションをさらに前進させるための一助になれば幸いです。

2007年3月

独立行政法人高齢・障害者雇用支援機構

障害者職業総合センター

研究主幹 苅 部 隆

執筆担当：（執筆順）

小泉 哲雄	障害者職業総合センター統括研究員	概要
岡本(戸田)ルナ	障害者職業総合センター研究員	第1章,第2章第2節3(2)・4, MWS ホームワーク版の概要
刎田 文記	障害者職業総合センター研究員	第2章第1節・第2節3(1) 第3章第3節2, 第4章 MWS ホームワーク版の概要
木村 彰孝	山口県立防府養護学校教諭	第2章第2節1, 第3章第1節
泉 忠彦	社会福祉法人神奈川県総合リハビリテーション事業団 神奈川県リハビリテーション病院職能科科長	第2章第2節2, 第3章第2節
小池 磨美	障害者職業総合センター研究員	第3章第3節1
仲村 信一郎	障害者職業総合センター研究員	補遺

研究にご協力いただきました関係協力機関のみなさま並びに地域障害者職業センターのみなさまに御礼申し上げます。

研究担当者

本研究は、障害者職業総合センター障害者支援部門で担当した。

研究担当者・研究担当時の職名、担当した年次は下記のとおりである。

谷 素子	障害者支援部門	統括研究員	(平成16年度)
小泉 哲雄	障害者支援部門	統括研究員	(平成17～18年度)
吉光 清	事業主支援部門	主任研究員	(平成16年度)
望月 葉子	障害者支援部門	主任研究員	(平成16～18年度)
加賀 信寛	〃	主任研究員	(平成18年度)
刎田 文記	〃	研究員	(平成16～18年度)
岡本 ルナ	〃	研究員	(平成16～18年度)
鷹居 勝美	〃	研究員	(平成16年度)
小池 磨美	〃	研究員	(平成17～18年度)
仲村 信一郎	〃	研究員	(平成18年度)
岩崎 容子	〃	研究協力員	(平成16～18年度)
栗田 明子	〃	研究協力員	(平成16～17年度)
伊藤 菜穂子	〃	研究協力員	(平成16年度)
清野 絵	〃	研究協力員	(平成17～18年度)
三宅 淑子	〃	研究協力員	(平成18年度)

研究委員会委員等名簿

事業主・家族支援等技法研究委員会

外部委員

佐藤 宏	職業能力開発総合大学校福祉工学科 元教授
安西 信雄	国立精神・神経センター武蔵病院 リハビリテーション部長
種村 留美	京都大学医学部保健学科作業療法専攻 助教授
山本 淳一	慶應義塾大学人間関係学系心理学専攻 教授

内部委員

木野 季朝	障害者職業総合センター職業センター企画課 課長補佐	平成 16 年度
有澤 千枝	障害者職業総合センター職業センター企画課 課長	平成 17 年度
春日 利信	障害者職業総合センター職業センター企画課 課長	平成 18 年度
美浦 誠次	障害者職業総合センター職業センター開発課 課長補佐	平成 16 年度
吉田 泰好	障害者職業総合センター職業センター開発課 課長	平成 17・18 年度
谷 素子	障害者職業総合センター障害者支援部門 統括研究員	平成 16 年度
小泉 哲雄	障害者職業総合センター障害者支援部門 統括研究員	平成 17・18 年度

事業主・家族支援等技法専門部会（家族等支援技法専門部会）委員名簿

外部委員

泉 忠彦	社会福祉法人神奈川県総合リハビリテーション事業団 神奈川リハビリテーション病院職能科 科長
木村 彰孝	山口県立防府養護学校 教諭
佐藤 修子	社会福祉法人桜葉会 つがるの工房生活支援センター センター長

地域障害者職業センター委員

山森 恵美	埼玉障害者職業センター 障害者職業カウンセラー	平成 16 年度
川上 恵	三重障害者職業センター 障害者職業カウンセラー	
位上 典子	広島障害者職業センター 障害者職業カウンセラー	
小林 千鶴	青森障害者職業センター 障害者職業カウンセラー	平成 17 年度
角田 裕美	徳島障害者職業センター 障害者職業カウンセラー	
石原 まほろ	佐賀障害者職業センター 障害者職業カウンセラー	
浅井 信之	山口障害者職業センター 障害者職業カウンセラー	平成 18 年度
角田 裕美	徳島障害者職業センター 障害者職業カウンセラー	
石原 まほろ	佐賀障害者職業センター 障害者職業カウンセラー	

障害者職業総合センター委員

岩佐 美樹	障害者職業総合センター職業センター開発課 援助係長	平成 16 年度
田中 章夫	障害者職業総合センター職業センター開発課 援助係長	平成 17 年度
藤村 真樹	障害者職業総合センター職業センター開発課 援助係長	平成 18 年度

目 次

概 要	1
第1章 家族支援に関する関係者のニーズと課題	7
第1節 広域・地域障害者職業センターを対象とした家族支援に関するニーズ調査	7
1. 調査対象、方法等	7
2. 結果	8
第2節 家族会・支援施設へのヒアリング結果	10
1. 調査対象	10
2. 調査方法	10
3. 結果	11
第3節 まとめ	12
1. ニーズの整理	12
2. ワークサンプルホームワーク版開発の意義	13
第2章 トータルパッケージの活用とホームワーク版の提案	14
第1節 トータルパッケージ及びホームワーク版の概要	14
1. 職場適応促進のためのトータルパッケージの概要	14
2. トータルパッケージの活用可能性の拡大	16
3. ホームワーク版開発の目的	17
4. ホームワーク版の概要	17
5. 第2節の構成	19
第2節 トータルパッケージ並びにホームワーク版の活用事例 — 家族支援を視野に入れた活用事例 —	20
1. 教育機関におけるトータルパッケージの活用事例	20
2. 医療機関におけるトータルパッケージの活用事例	46
3. 福祉機関におけるトータルパッケージの活用事例	61
4. 職業リハビリテーション機関における活用事例	70
第3章 トータルパッケージの試行を介した関係機関との連携	88
第1節 教育機関と職リハ機関との連携モデルと課題	88
1. 現在までの教育機関と関係機関との連携	88
2. トータルパッケージの試行を介した連携モデルの提案	92

第2節 医療機関と職リハ機関との連携モデルと課題	97
1. はじめに	97
2. 連携の概要	98
3. まとめ	101
第3節 福祉機関と職リハ機関との連携モデルと課題	103
1. 精神障害者福祉施設における試行を踏まえた連携モデルとその課題	103
2. 高次脳機能障害福祉施設における試行を踏まえた連携モデルとその課題	119
第4章 トータルパッケージを活用した連携の課題	126
第1節 多様な機関におけるトータルパッケージの活用	126
1. M-メモリーノートの活用事例	126
2. MWS の活用事例	127
3. MSFAS の活用事例	127
第2節 トータルパッケージを活用した関係機関の連携のあり方	128
1. M-メモリーノートの活用による連携	128
2. MWS の活用による連携	129
3. MSFAS の活用による連携	130
資 料	132
《補遺 家族支援の枠組みと関係機関の取り組みの課題》	133
はじめに	133
第1節 家族の構造と機能	133
1. 家族の構造	133
2. 家族の機能	136
3. 家族アセスメントのまとめ	141
第2節 障害特性別の家族支援アプローチ	141
1. 知的障害・発達障害	141
2. 精神障害	142
3. 高次脳機能障害	143
4. 身体障害等	144
第3節 家族の個別ニーズと支援の原則	144
1. 家族の個別のニーズ	144
2. 家族支援の原則	144

第4節 家族を支援者にするについての考察	146
1. 家族を支援者にするための要件と困難性	146
2. トータルパッケージ（ホームワーク版）の活用に際して	147
《 MWS ホームワーク版の概要 》	153
第1節 事務課題	153
1. 宛名書き	153
2. 健康管理グラフ	157
3. 家計簿作成	160
第2節 OA 課題	163
1. 基本仕様	163
2. モード設定	163
3. 直前に実施したレベル等の反映	164
4. 画面表示のカスタマイズと休憩ボタン	164
5. インストラクションの表示	164
6. 訓練結果の出力	165
7. モード	165
8. データ管理	167
第3節 実務課題	167
1. 洗濯物たたみ	168
2. 食器洗い	171
3. 包丁の使い方（野菜）	173